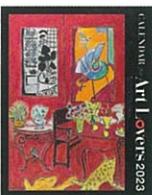


美術新潮

Geijutsu Shincho

付録
CALENDAR
for
Art Lovers
2023



ハーヴィル美術館展
舞をまなぶ!?

12

December 2022

大特集

これだけは見ておきたい
2023年美術展

Best25 and More!

主要25展を
わかりやすく月ごとに紹介
**約100展の
情報を網羅**

撮りおろし!
スペシャルグラビア

松村北斗
(SixTONES)

×
ヴァロットン展



デコトラに魅了されたフォトグラファー 秦淳司の集大成『DEKOTORA』

ボディにペインティングを施し、派手な電飾で飾り立てた満艦飾のトラック、デコトラ。フォトグラファー秦淳司は、デコトラに魅せられ15年間写真を撮り続けた。その成果が、このほど写真集『DEKOTORA』として刊行され、写真展が開催される(12月9日~25日・神楽坂のRollにて)。夜の間に浮かび上がるデコトラはまるで路上の宇宙船のようだ。近年、唯一無二のポップアートとして世界から注目されているデコトラが、もはや絶滅の危機にあるというのは淋しい限りだ。

●DEKOTORA Spaceships on the Road in Japan／問合せ:☎03-5774-1500(ダイアモンドヘッズ 加藤)
<https://heads.co.jp/dekotora/>



写真集は、厚さ5cm、重さ2.4kg
価格は880円(税込)。
出来上がり。

近代の洋画家と対話する 江上越「憑りつかれる魂」展

日本だけでなく中国、アメリカ、ヨーロッパを舞台に国際的な活躍を見せる若手アーティスト江上越の、意欲的な展覧会「憑りつかれる魂 江上越が問いかける近代、その地平」が、広島のウッドワン美術館で開催中だ。本展では、江上がリスペクトする近代日本の洋画家・黒田清輝、岸田劉生、安井曾太郎や、ファン・ゴッホ、ルノワールへのオマージュ作品55点と、同館収蔵作品とで構成。明治・大正の洋画家たちとの時空を超えた対話から、江上がたどりついた絵画表現とは、江上の様々な実験的試みを追体験できる展覧会だ。

●「憑りつかれる魂」展／会期:~12月4日／会場:ウッドワン美術館 広島県廿日市市吉和4278／開館時間:10:00~17:00(入館は~16:30)／休館日:月曜日／入館料:一般1400円／問合せ:☎0829-40-3001
<https://www.woodone-museum.jp>

「憑りつかれる魂 江上越が問いかける近代、その地平」展 展示風景。



*新型コロナウィルス感染症など諸般の事情により、開館日・営業時間等に変更が生じることがございます。
最新の情報はHP、電話などでご確認ください。



芝パークホテル所有の本で制作した
2021年のブックツリー。

寄付された本がブックツリーに 芝パークホテルの 「ブックバトンプロジェクト」

ホテルのゲストなど企画に賛同した人たちが寄付した本を積み上げてできた美しいブックツリーが芝パークホテルに飾られている。本は飾るだけでなく、展示後は古書店に買い取ってもらい、その金額を認定特定非営利活動法人ルーム・トゥ・リード・ジャパンが実施する「ブックバトンプロジェクト」に贈ることで、世界各地の低所得地域の子供たちの識字率向上に役立ててもらおうという新しい試み。常時1500冊の本を所有するライブラリーホテルでもある芝パークホテルならではの取り組みだ。自宅に眠っている本で社会貢献できる気軽さがいい。

●芝パークホテル 東京都港区芝公園1-5-10／問合せ:☎03-3433-4141

日本橋三越が美術館になる? 「日本近代洋画の軌跡」展



明治期の浅井忠、藤島武二、大正時代の関根正二、昭和期の梅原龍三郎、安井曾太郎、戦後の香月泰男、中川一政、さらに独自の道を切り開いていった坂本繁二郎や熊谷守一など、日本の近代洋画を牽引してきた画家たち。その作品は、西欧の画法を模倣し習得しながら、日本人にとって油彩画とは何かを模索し続けた歴史だ。本展は、ほぼ編年順で「日本近代洋画の作品」が展示され、探求と創造の100年を振り返ることができる。

日本橋三越の美術特選画廊が日本近代洋画の美術館になったような贅沢な展覧会だ。

●日本近代洋画の軌跡 探求と創造の100年
会期:12月28日~2023年1月9日／会場:日本橋三越本店 本館6階 美術特選画廊 東京都中央区日本橋室町1-4-1／営業時間:10:00~19:00(最終日~17:00)／入場無料／問合せ:☎03-3241-3311
<https://www.mitsukoshi.co.jp>

東京造形大学 学生たちの 学びの集大成「ZOEI展」

「**Z**OEI展」は、東京造形大学の卒業研究・卒業制作と、東京造形大学大学院の修士論文・修士制作を一堂に展出・展示する、卒業制作展だ。「ZOEI:造形」という表現は、創立者・桑澤洋子が美術やデザインという既成の領域を超え、新しいクリエイターを育むべく、初めて大学名称として用いたもの。この展覧会は、同学での教育成果をより多くの人に見てもらおうという試みであり、学生たちの創作エネルギーに触れる貴重な機会だ。

●ZOEI展／会期:2023年1月20日~22日／会場:東京造形大学 東京都八王子市宇津賀町1556／開場時間:10:00~17:00／入場無料／問合せ:☎042-637-8111

<https://www.zokei.ac.jp/campuslife/zokeiten/>



昨年度のZOEI展の様子。

秋の庭園と建物と美術展 東京都庭園美術館の愉しみ

東京庭園美術館は、昭和初期にフランスの芸術家やデザイナーに依頼し建築されたアール・デコ様式の旧朝香宮邸をほぼそのまま使用しているユニークな美術館。貴重な歴史的建造物であり、国の重要文化財に指定されている。また広大な庭園も一般開放されており、紅葉が見頃を迎える11月下旬から12月初旬は、日にちを限定して夜間開館を予定。11月25日(金)、26日(土)、12月2日(金)、3日(土)は、20:00まで開館(最終入場は~19:00)。併せて、茶室「光華」(重要文化財)の特別公開もある(~12月11日)。

●東京都庭園美術館 東京都港区白金台5-21-9／開館時間:10:00~18:00(入館は~17:30)／休館日:月曜、12月28日~1月4日、1月10日／入館料:庭園入場料200円／問合せ:☎050-5541-8600(ハローダイヤル)

<https://www.teien-art-museum.ne.jp/>

東京都庭園美術館 本館正面外観(紅葉)

